

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	54	豊田市立 石畳小 学校	代表	荻野 典子
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	ふるさとのよさを生かした生き生き体験活動の推進	分野	B	地域連携
	サブテーマ	(その他) は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねら）	恵まれた自然と整えられた学習環境、温かい人情の中で、のびのびと育ってほしいという地域や保護者の願いを踏まえ、地域のよさを生かした教育活動を推進する。 (1) 豊かな自然の中で生き生きと活動したり、地域の人々との交流を通したりして、ふるさとのよさを見つけ、進んで学ぶ子を育てる。 (2) 農業や陶芸など、地域の特色を生かした学習を進め、校区の伝統文化に関心をもち、地域のよさを見つけ、伝えていこうとする心情を育てる。 (3) 地域の特色を生かした体験的な活動を通して、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育てる。 (4) 指導方法の工夫や、一人一人の個に応じた適切な支援をすることにより、運動技能の向上を図る。			
活動内容・計画	活動1：地域の農業や伝統文化を取り入れた学習、地域探検を通して地域を知る学習を進める。 昔遊びの体験（1年）、地域探検（1・2・3年）、石畳の環境を考える学習（4年）、稲作と米食の学習（5年） 地域の歴史学習（6年）、野菜作り（1・2年、特別支援） 活動2：本校の特色である陶芸設備を活用し、積極的に陶芸活動を進める。 陶芸作品制作と展示発表（全学年） 活動3：地域の教育ボランティアや施設・文化財等を積極的に活用した学習を進める。 ボランティアによる読み聞かせ（全学年）、ハンドベル（クラブ活動）、松平郷などの見学（6年） 活動4：定期的に行う教育相談活動 教育相談週間（5月と11月） 計画1：教育ボランティアの発掘と人材バンクの追加・整備、活動計画立案……4月・全学年 教育ボランティアを積極的に活用した学習の展開……通年・全学年 計画2：陶芸活動の教科・領域への位置づけと指導計画立案……4月・全学年 学年に応じた体験活動の実践……6月～11月・全学年 計画3：農業体験・伝統文化体験の指導計画立案……4月・全学年 学年に応じた体験活動の実践……通年・全学年 計画4：体力補助指導員による学習活動支援……通年（週1日3時間）・1～3年 校内整備員による学習環境の整備……通年（週2日12時間） 計画5：実践のまとめと反省・次年度の計画立案……2月・全学年			
補助員配置	・校内整備員が安心・安全な校内環境となるように整備を行う。 ・体力補助指導員が運動技能向上のために、教員に指導方法を助言したり、子どもの学習活動を支援したりする。			
実績・期待される効果	・地域の教育力を取り込むことにより、学校と地域との連携を深め、学校と地域が一体となって子どもを育てる活動を進めることができる。 ・地域ボランティアや地域の自然から学び、伝統文化や産業を調べ、体験することにより、自分たちの住む地域のよさを知り、地域に誇りをもって、郷土を愛する心を育てることができる。 ・地域の特色と恵まれた施設を活用して、地域の伝統産業である陶芸に親しみながら創作活動をすることによって、自ら学び、工夫し、追究する意欲を高めることができる。 ・敷地内の学習環境を常時整備することで安全が確保され、子どもたちが安心して、のびのびと活動することができる。 ・自然の中での体験活動を通して、子どもたちの感性を磨くとともに、環境学習から自然環境を生かした生活の仕方を学ぶことができる。 ・運動が苦手な子どもたちに、体を動かすことの楽しさや上手に体を動かすコツを伝えるなどの支援をすることで、運動への意欲を高め、体力向上を図ることができる。			
検証方法	・単元や活動を終えてからの子どもたちの感想や振り返り ・保護者や地域の方の声（保護者アンケート・学校運営協議会）			